



令和6年度教育課程研究集会 中学校 社会

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた 授業改善について

令和6年8月
奈良県教育委員会事務局
義務教育課 義務教育指導係
指導主事 片浦 亮

本日の内容

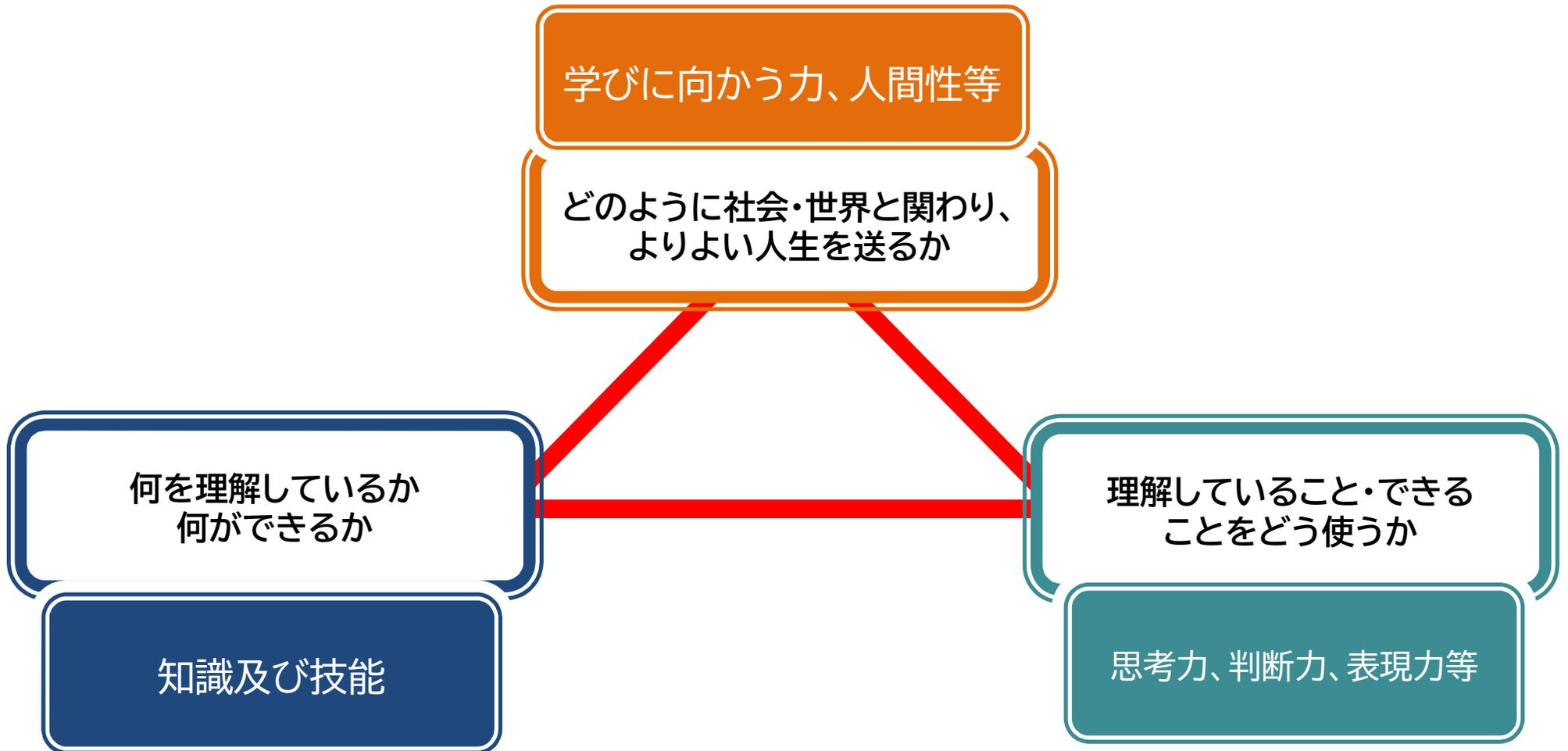
1. 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて
2. 宇陀市立大宇陀中学校 上辻雅人先生による実践発表

1. 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて

社会科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。(以下略)

育成すべき資質・能力の三つの柱



資質・能力についての社会科の基本的な考え方

- (ア) 基礎的・基本的な「知識及び技能」の確実な習得
- (イ) 「社会的な見方・考え方」を働かせた「思考力、判断力、表現力等」の育成
- (ウ) 主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養や
よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度の育成

主体的・対話的で深い学びについて

授業改善に向けた「学習者」の視点

主体的な学び	学ぶことに興味や関心を持つ
	自己のキャリア形成の方向性と関連付ける
	見通しをもつ
	粘り強く取り組む
	自己の学習活動を振り返って次につなげる

国立教育政策研究所(2020)「主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善の視点について」

主体的・対話的で深い学びについて

授業改善に向けた「授業者」の視点

主体的な学び	既習事項を振り返る	子供の思考を見守る
	具体物を提示して引きつける	子供の思考に即して授業展開を考える
	子供が明らかにしたくなる学習課題を設定する	子供の考えを生かしてまとめる
	子供が自らめあてをつかむようにする	その日の学びを振り返る
	学習課題を解決する方向性について見通しを持たせる	新たな学びに目を向けさせる
	子供が自分の考えを持つようにする	

国立教育政策研究所(2020)「主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善の視点について」

主体的・対話的で深い学びについて

授業改善に向けた「学習者」の視点

対話的な学び

子供同士の協働を通じ、自己の考えを広げ深める

教職員との対話を通じ、自己の考えを広げ深める

地域の人との対話を通じ、自己の考えを広げ深める

先哲の考え方を手掛かりに考える

主体的・対話的で深い学びについて

授業改善に向けた「授業者」の視点

対話的な学び

思考を交流させる

交流を通じて思考を広げる

協働して問題解決する

板書や発問で教師が子供の学びを引き出す

主体的・対話的で深い学びについて

授業改善に向けた「学習者」の視点

深い学び

各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせる

知識を相互に関連付けてより深く理解する

情報を精査して考えを形成する

問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう

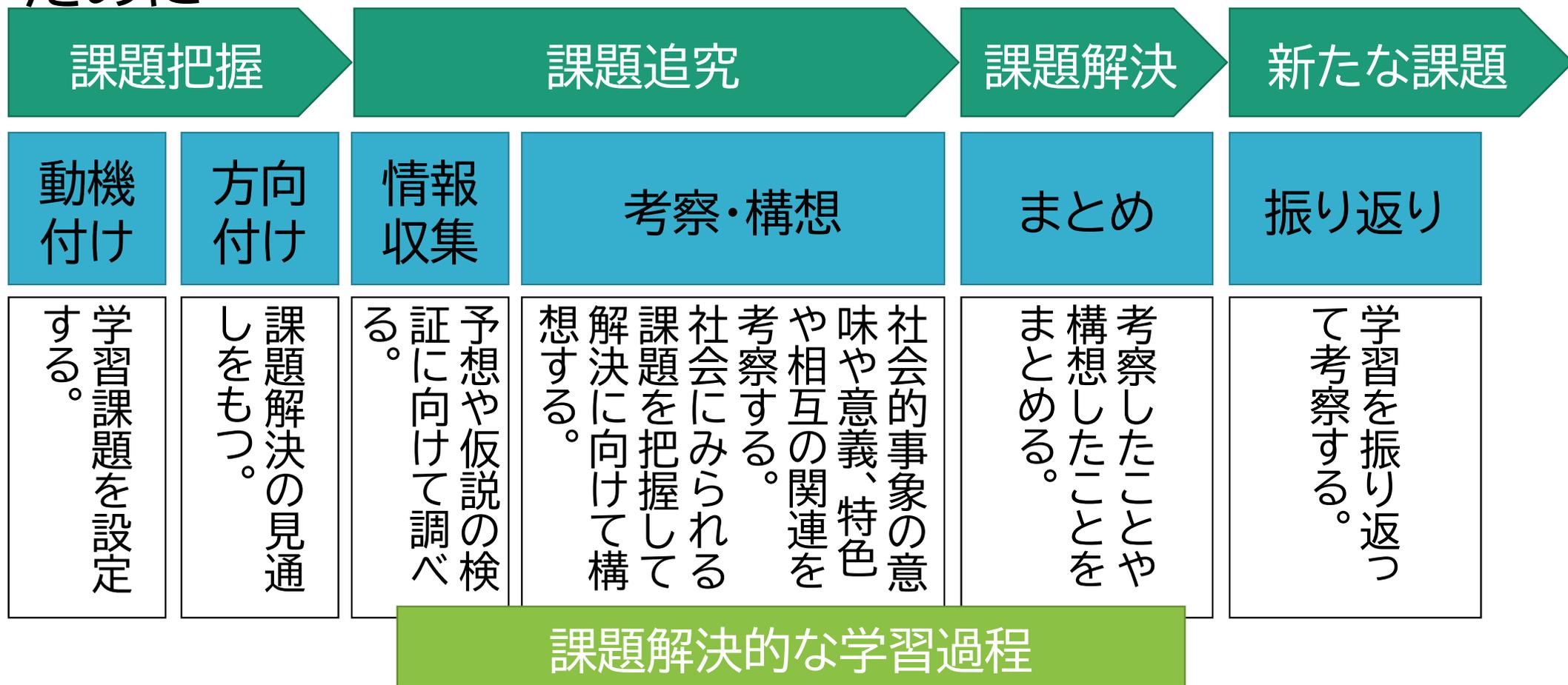
主体的・対話的で深い学びについて

授業改善に向けた「授業者」の視点

深い学び	資質・能力を焦点化する(つきたい力を明確にする)
	単元や各授業の目標を把握する
	ねらいを達成した子供の姿を具体化する
	教材の価値を把握する
	単元及び各時間の計画を立てる
	目標の達成状況を評価する

国立教育政策研究所(2020)「主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善の視点について」

社会科において、主体的・対話的で深い学びを実現するために



幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申) 別添資料

上辻先生の実践発表について①

- 単元を貫く問いが設定されており、生徒は見通しをもって学習している。
- 生徒は資料から問題を解決するために必要な情報を集め、その情報を協働して整理・分析して、学習課題の答えを考えている。
- 生徒は既習の知識と新たに学習した知識をつなげ、深く理解したり、考えを形成したりしている。

上辻先生の実践発表について②

- 生徒が課題を追究したり、解決したりするように学習が設計されている。

